

平成22年10月29日
独立行政法人
日本原子力研究開発機構
敦賀本部

高速増殖原型炉もんじゅの炉内中継装置落下に係る状況について

高速増殖原型炉もんじゅは、燃料交換作業の片付け作業中に発生した炉内中継装置の落下について原因調査等を進めております。

炉内中継装置について、原子炉容器からの引抜き作業を中断し、その状況を把握するため、炉内の観察等具体的な方策などを検討してきております。また、炉内中継装置引抜きについては、炉内中継装置の観察、炉内中継装置案内管の接続部近傍の状況に関する解析による評価により、総合的な評価・判断を行っていく計画です。その一環として、明後日より、炉内中継装置の接続部近傍についての内面からの観察*1を行うための装置などの据付・調整などの作業を進めてまいります。

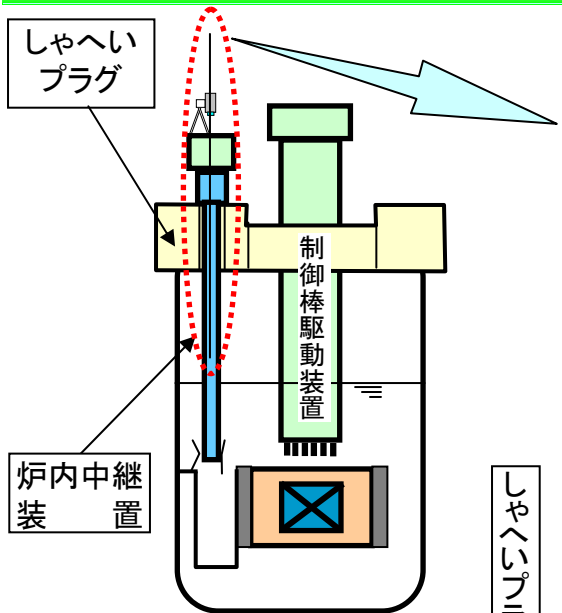
また、予備孔を利用した炉内中継装置外面からの観察方策、炉内中継装置本体の引抜き作業についても平行して検討を進めています。

*1：接続部近傍の内面観察では、内側案内管の上部のギャップ等を観察する

添付資料：炉内中継装置の接続部の内面からの観察について

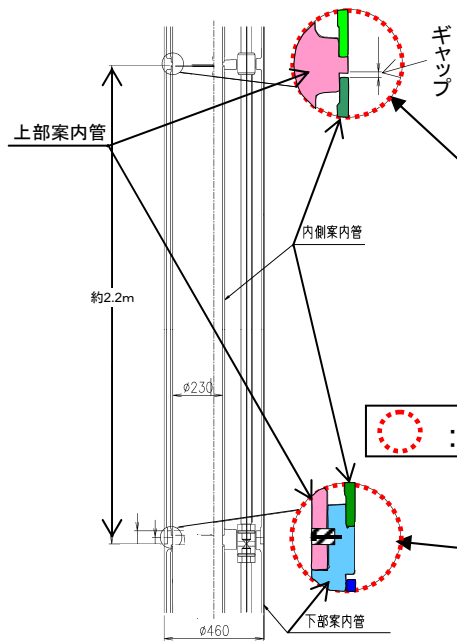
以上

炉内中継装置の内面からの観察について

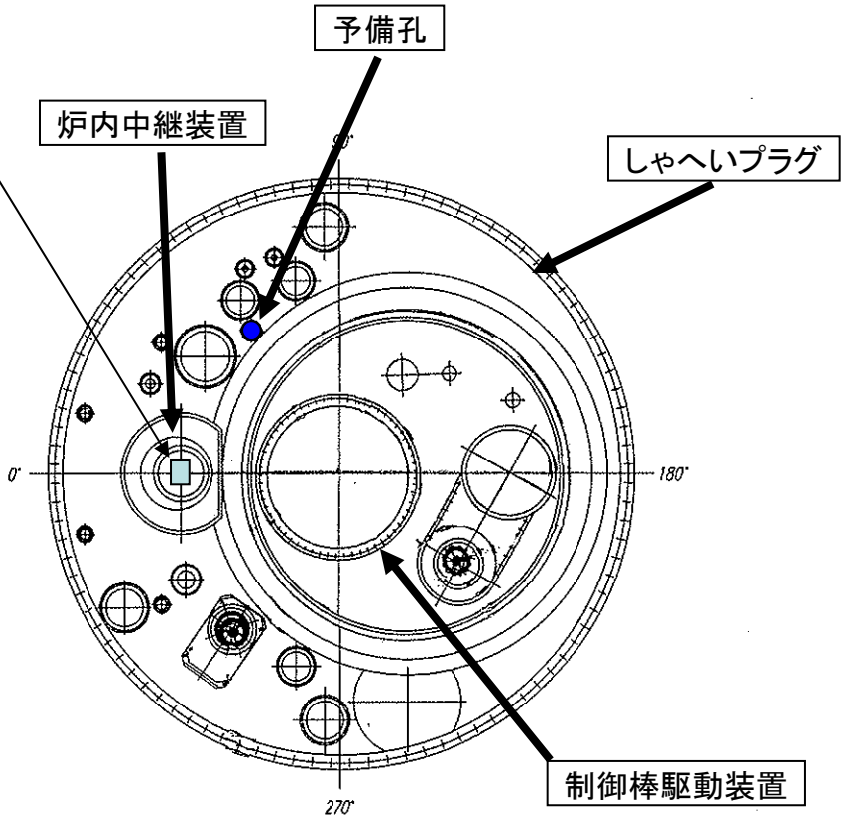
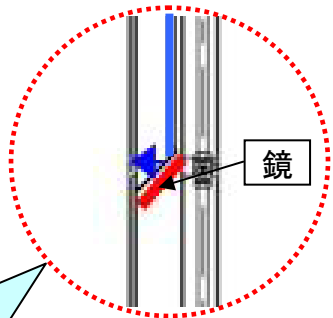


炉内中継装置について、カメラ、ペリスコープ、鏡などを用いて内面からの接続部等の観察を実施

観察などの確認結果を踏まえ、総合的に評価・検討を行い、炉内中継装置本体の引抜き作業について慎重に対応していく



炉内中継装置内面からの観察



炉内中継装置の観察
(原子炉容器上部の配置図)

炉内中継装置引抜き作業の中断

参考(10月19日資料抜粋)

落下防止対策を行った原子炉機器輸送ケーシングを用いて、10月13日に炉内中継装置の引抜き作業を実施。

約2.3m程度引き上げた時点で吊り荷重が増加(約3.7tの初期荷重に対し警報設定値4.8tまで増加)することから引抜くことができず、作業を中断。

これまでの検討状況から、何らかの原因で、炉内中継装置案内管接続部近傍が、しゃへいプラグの孔に差し込んでいる燃料出入孔スリーブの最下端部の狭隘になっている箇所*と干渉している可能性があると考えている。
*片側2.5mmの隙間

